# 毎日英字紙にも「変態ニュース」が掲載されていた事が発覚！

## *毎日新聞社の謝罪記事は真っ赤なウソだった！*

毎日新聞は 7 月 20 日「毎日新聞変態捏造事件」に対して謝罪記事を掲載した。その内容は要約すると次のようなものである。

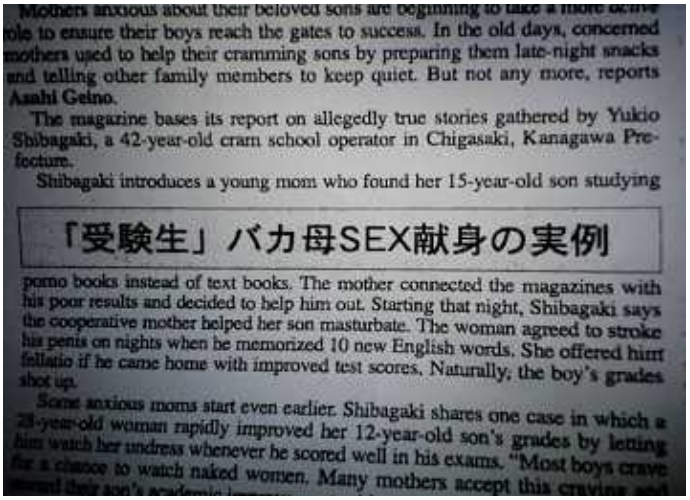
***・ウェブに移行後体制の変化に追いつけず、チェック体制が追いつかなかった***

***・編集長の肩書きを持つ外国人記者が不適切な記事を執筆していた***

***・スタッフは外国人のみで日本人の視点が欠けていた***

つまり、この謝罪記事は英字紙からウェブに移行した際に問題のある構造ができてしまい今回のような事件が起きたと言い訳をしているにすぎない。

しかし、英字紙「Mainichi Daily News」にもウェブと同様に「低俗な」記事が数多く掲載されていた。例えば、1997 年 10 月 5 日付の英字紙では、「『受験生』バカ母 SEX 献身の実例」と日本語でタイトルが記載されているほか、日本人名の署名が入っている記事がある。内容は、成績を上げるために勉強前に息子の性処理をする母親がいるというもので、02 年にニュースサイトで外国人記者の署名入りで配信された記事と同様のものだ。



Mothers anxious about their beloved sons are beginning to take a more active role to ensure their boys reach the gates to success. In the old days, concerned mothers used to help their cramming sons by preparing them late-night snacks and telling other family members to keep quiet. But not any more, reports Asahi Geino.

The magazine bases its report on allegedly true stories gathered by Yukio Shibagaki, a 42-year-old cram school operator in Chigasaki, Kanagawa Prefecture.

Shibagaki introduces a young mom who found her 15-year-old son studying

「受験生」バカ母SEX献身の実例

porno books instead of text books. The mother connected the magazines with his poor results and decided to help him out. Starting that night, Shibagaki says the cooperative mother helped her son masturbate. The woman agreed to stroke his penis on nights when he memorized 10 new English words. She offered him fellatio if he came home with improved test scores. Naturally, the boy's grades shot up.

Some anxious moms start even earlier. Shibagaki shares one case in which a 28-year-old woman rapidly improved her 12-year-old son's grades by letting him watch her undress whenever he scored well in his exams. "Most boys crave for a chance to watch naked women. Many mothers accept this craving and

英語版ニュースサイトだけでなく、11 年前の英字紙の時代からずっと続いていたわけで、《ネットだからこそ起きたこと》ではなかった。英字紙では日本人と見られる記者も執筆していることなど、ネットとは関係なく「不適切記事」を流していたのは明白で、背景には根深いものがありそうだ。

## 謝罪記事のウソと真実

◆9 年前のウェブスタート時から始まった。
**→11 年前の紙媒体（英字紙）時代からすでにでかでかと掲載されていた。**

◆ウェブに移行後、体制の変化に追いつかず、一般ニュース（のチェック）に集中せざるを得なかった。
**→紙媒体上で既にチェックができていなかった。**

◆ウェブに移行してからは外国人記者 5 人、日本人 2 人となり、「waiwai」の執筆は実質 1 人となった。少数の外国人記者による暴走によりこの事件が起こった。
**→英字紙時代の最後には外国人記者が 15 人、日本人 3 人の計 18 人のスタッフがいた。**

◆MDN が紙だった時代にも性に関する話題は掲載され、編集者が表現を和らげるように指摘することもあった。
**→今回発見された記事には、《「受験生」バカ母 SEX 献身の実例》という見出しがつけられており、表現が和らいでいるようには思えない。**

**ご確認の際はこちらをご参照下さい**
**検索ワード 毎日新聞　変態記事**